

向こう1か月の天候の見通し

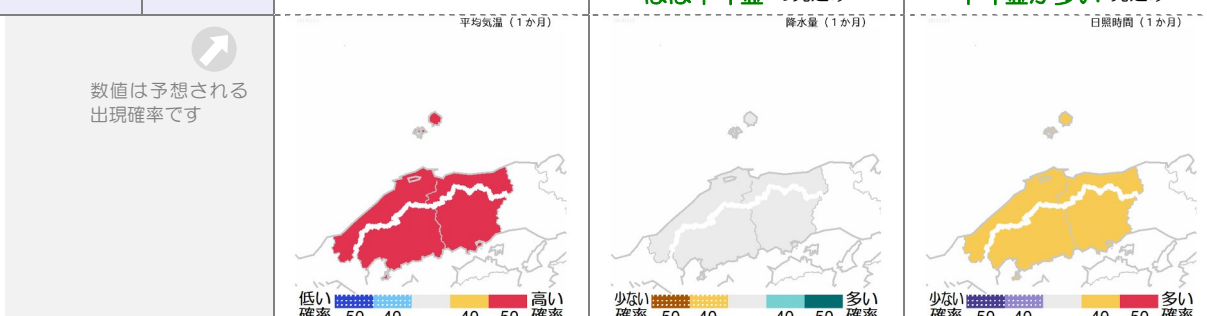
中国地方（11月17日～12月16日）

広島地方气象台

予報のポイント

- 寒気の影響を受けにくいでしょう。1週目の気温は平年並が高く、2週目は高いでしょう。向こう1か月を平均した気温は高い見込みです。
- 高気圧に覆われやすい時期があるでしょう。このため、向こう1か月を通した日照時間は平年並が多い見込みです。

1か月の平均気温・降水量・日照時間

		平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
中国地方	山陰	低 20 並 30 高 50% 高い見込み	少 40 並 30 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並が多い見込み
	山陽		少 40 並 30 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並が多い見込み
		平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
 <p>数値は予想される出現確率です</p>				
		低い確率 (%) 50 40 以上 平年並も40% 高い確率 (%) 40 50 以上	少ない確率 (%) 50 40 以上 平年並も40% 多い確率 (%) 40 50 以上	少ない確率 (%) 50 40 以上 平年並も40% 多い確率 (%) 40 50 以上





週別の天候

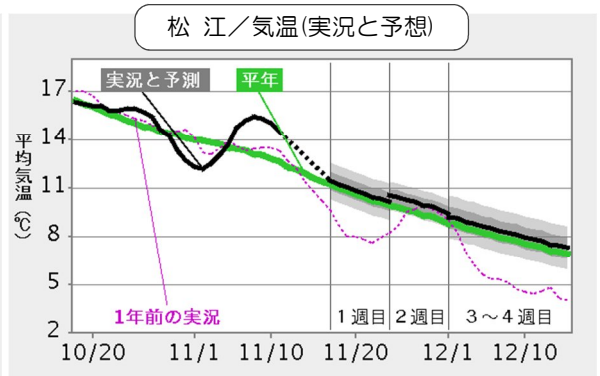
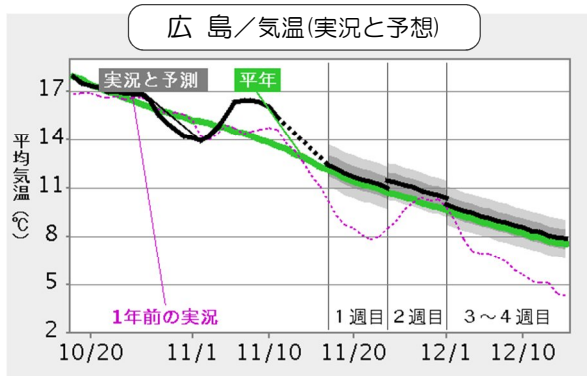
(1週目) 11/17～23	(2週目) 11/24～30	(3～4週目) 12/1～14
<p>低気圧の通過後は冬型の気圧配置となる日があるでしょう。</p> <p>山陰では平年と同様に曇りや雨の日が多く、山陽では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。</p>	<p>気圧の谷や寒気の影響を受けにくく、高気圧に覆われやすいでしょう。</p> <p>このため、山陰では平年に比べ曇りや雨の日が少なく、山陽では平年に比べ晴れの日が多い見込みです。</p>	<p>低気圧の通過後は冬型の気圧配置となる日があるでしょう。</p> <p>山陰では平年と同様に曇りや雨の日が多く、山陽では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。</p>

明日から1週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<https://www.jma.go.jp/jp/week/>) を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

週別の平均気温

	平均気温（1 週目） 11/17~23	平均気温（2 週目） 11/24~30	平均気温（3~4 週目） 12/1~14
中国地方	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み	低 10 並 40 高 50% 高い 見込み	低 30 並 30 高 40% ほぼ平年並 の見込み
 数値は予想される 出現確率です	平均気温（1 週目） 	平均気温（2 週目） 	平均気温（3~4 週目） 
	低い確率 (%) 50 以上 40 平年並も 40% 高い確率 (%) 50 以上	低い確率 (%) 50 以上 40 平年並も 40% 高い確率 (%) 50 以上	低い確率 (%) 50 以上 40 平年並も 40% 高い確率 (%) 50 以上
	低い確率 (%) 50 以上 40 平年並も 40% 高い確率 (%) 50 以上	低い確率 (%) 50 以上 40 平年並も 40% 高い確率 (%) 50 以上	低い確率 (%) 50 以上 40 平年並も 40% 高い確率 (%) 50 以上



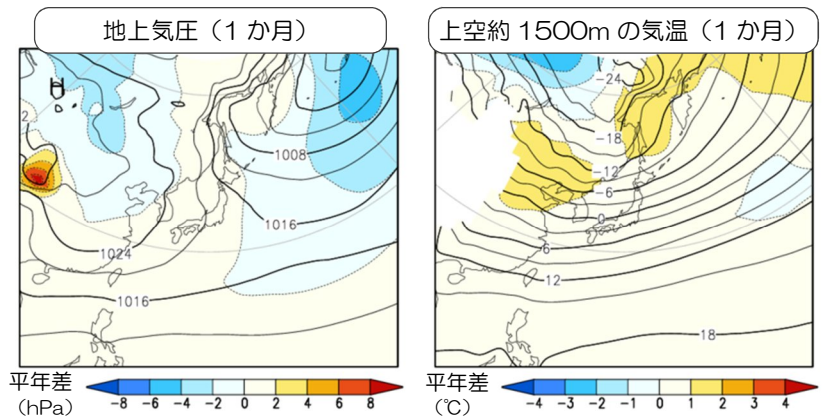
ほかの地点の気温（実況と予想）グラフは、気象庁ホームページ <https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/tjikeiretu/index.php> で公開しています。

予想の気温は、週別の平均的な気温の見込みを黒い太線で表しています。信頼の程度が 40%の幅を濃い網掛けで、70%の幅を薄い網掛けで示しています。今年、昨年の実況は 7 日平均気温です。

数値予報モデルによる予測結果

1 か月平均の地上気圧（左図）は、西シベリアから華北にかけてとベーリング海から日本の南東海上にかけては平年より低い予想です。一方、その他の地域では平年より気圧が高い予想です。

上空約 1500m の気温（右図）は、中央シベリア付近と日本のはるか東では平年より低い予想です。一方、その他の地域では平年より気温が高い予想で、華北付近及びオホーツク海付近では明瞭となっています。

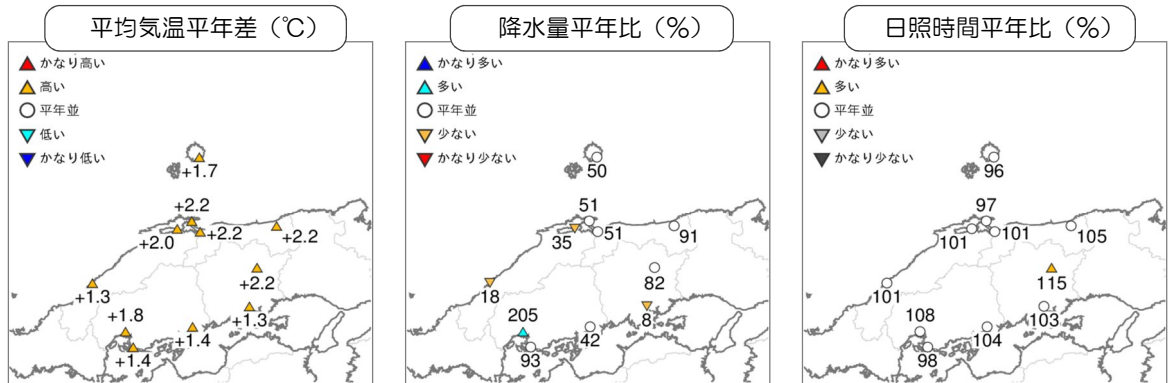


季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

最近 1 週間の天候経過（実況）

11/8~14

高気圧と低気圧や前線の影響を交互に受け、天気は概ね数日の周期で変わりました。



(実況) 11/8~14		平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
中国地方	山陰	+1.8℃ (高い)	49% (少ない)	100% (平年並)
	山陽		86% (平年並)	106% (平年並)

参考データ

●平年並の範囲

	平均気温 (1 か月)	平均気温 (1 週目)	平均気温 (2 週目)	平均気温 (3-4 週目)
中国地方	平年差: -0.3~+0.5℃	平年差: -0.7~+0.5℃	平年差: -0.6~+0.6℃	平年差: -0.3~+0.7℃
松江	8.7~9.4℃	10.0~11.1℃	8.9~10.1℃	7.5~8.6℃
広島	9.4~10.3℃	10.7~12.2℃	9.6~11.0℃	8.3~9.2℃

	降水量 (1 か月)	日照時間 (1 か月)
山陰	平年比: 89~111%	平年比: 94~107%
山陽	平年比: 58~122%	平年比: 95~106%
松江	107.7~146.8mm	80.7~91.7 時間
広島	30.3~56.7mm	127.1~143.3 時間

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1981-2010 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11~20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおそ「平年並」の範囲としています。また、実況の分布図にある「かなり高い（多い）」などは、高い（多い）方から 3 番目までの値に相当します。

●晴れ日数と降水日数の平年値

	1 か月		1 週目		2 週目		3~4 週目	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
松江	9.6 日	13.4 日	2.7 日	3.1 日	2.4 日	3.3 日	4.5 日	6.9 日
広島	17.3 日	5.0 日	4.2 日	1.3 日	4.3 日	1.2 日	8.7 日	2.5 日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の 4.0% 以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量 1 mm 以上」の日数です。この 2 つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

●確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率 (低い (少ない) : 平年並 : 高い (多い))	解 説
高い (多い) 確率が 50% 以上	高い (多い) 見込み
(20 : 40 : 40)	平年並が高い (多い) 見込み
平年並の確率が 50% 以上	平年並の見込み
(40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並が低い (少ない) 見込み
低い (少ない) 確率が 50% 以上	低い (少ない) 見込み